

## 令和3年教育委員会 第12回定例会

1 日 時 令和3年12月23日(木) 13時30分開会 15時50分開会

2 場 所 教育委員会庁舎1階 第1会議室

3 出席委員 教育長 林 秀 樹  
教育委員 小 澤 倭文夫  
教育委員 荒 田 純 司  
教育委員 常 見 幸 司  
教育委員 黒 田 仁 美

4 欠席委員 なし

5 出席職員 教育部長 中 島 正 人  
学校教育支援室長 大 山 倫 生  
学校教育支援室主幹(生徒指導・特別支援担当) 篠 崎 大 作  
学校教育支援室主幹(学務担当) 吉 田 健 一  
施設管理課長 柿 岡 佳 憲  
生涯学習課長 山 澤 亮 司  
生涯スポーツ課長 富 樫 誠  
学校給食センター副所長 作 田 敏 春  
図書館副館長 海 藤 久仁子  
文学館・美術館副館長 金 澤 妙 子  
教育部主幹(市立学校適正配置担当) 島 谷 和 大  
教育総務課総務係長 森 田 裕 規  
教育総務課総務係 高 橋 ありさ

6 傍聴人 なし

7 議 題

協議第1号 令和3年度教育費補正予算案について

協議第2号 令和4年度教育費予算案について

協議第3号 就学指定校変更に関する事務処理要綱について

協議第4号 小樽市総合体育館長寿命化計画(案)について

報告第1号 令和3年度「生涯スポーツ功労者(文部科学大臣表彰)」の受賞について

報告第2号 令和3年度北海道教育功績者表彰の受賞について

報告第3号 菁園中学校吹奏楽部の「日本管楽合奏コンテスト」最優秀賞受賞について

報告第4号 小樽市成人式について  
報告第5号 いじめ防止キャンペーン標語について  
その他 寄附採納について

## 8 議 事

**教育長** ただ今から、教育委員会第12回定例会を開会いたします。  
本日の会議の議事録署名委員に、荒田純司委員を指名させていただきます。  
はじめに、お諮りいたします。

「協議第1号 令和3年度教育費補正予算案について」及び「協議第2号 令和4年度教育費予算案について」は会議規則第13条第1項第3号により、「協議第3号 就学指定校変更に関する事務処理要綱について」及び「協議第4号 小樽市総合体育館長寿命化計画(案)」については同項第5号によりそれぞれ非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

**各委員** (異議なし)

**教育長** では、そのように進めさせていただきます。  
また、本日も換気のため、適宜5分程度の休憩を入れたいと考えておりますのでよろしくお祈りいたします。  
また、事務局から追加提案の申し出がありますので、説明をお願いします。

**事務局** 追加提案したい議案が1件ございますので資料を配布させていただきます。  
ただ今資料をお配りいたしましたので、「報告第5号 いじめ防止キャンペーン標語について」を追加していただきたくお諮り願います。

**教育長** それでは、事務局から説明があったとおり、「報告第5号 いじめ防止キャンペーン標語について」を追加することとし、報告第4号の次に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

**各委員** (異議なし)

**教育長** それでは、そのように進めさせていただきます。  
議事に入ります。「報告第1号 令和3年度「生涯スポーツ功労者(文部科学大臣表彰)」の受賞について」の説明をお願いします。

### **報告第1号 令和3年度「生涯スポーツ功労者(文部科学大臣表彰)」の受賞について**

**生涯スポーツ課長** 「報告第1号 令和3年度「生涯スポーツ功労者(文部科学大臣表彰)」の受賞に

ついて」御報告いたします。

受賞者の柴田昭夫氏は、本道及び本市における体操競技の普及及び発展に、長年にわたり貢献された功績が認められ、本年10月11日に文部科学大臣表彰である令和3年度の生涯スポーツ功労者を受賞されました。

同表彰は昭和33年度に開始したもので、これまでの表彰者数は5,642名、本年度は男性132名・女性34名の計166名に、表彰状及び記念品が授与されました。

資料の表面には表彰の実施要項の抜粋、裏面には柴田氏の略歴を記載しております。体操競技の普及及び発展のみならず、小樽市社会教育委員、小樽市スポーツ推進審議会委員などを長年務められるなど、本市の教育行政にも長年多大な御貢献をいただいているところであり、令和元年11月には小樽市功労者の教育文化功労表彰を受賞されました。

現在も、NPO法人小樽スポーツ協会副会長、小樽市社会教育委員、小樽市スポーツ推進審議会会長などの公職を務めておられるほか、令和元年度からは総合体育館の館長として、市内スポーツ施設の管理運営も含め、スポーツ振興全般にわたり御尽力をいただいております。

報告は、以上であります。

**教育長**

それでは、ただ今の報告に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。柴田さんにおかれましては、教育委員会でも大変お世話になっている方でございまして、ずっと体操競技を通じて指導にあたっているところが今回評価されたということでございます。

先日御挨拶に来られましたけど、私の方からも感謝と御礼を申し上げておきました。よろしいでしょうか。

**各委員**

(なし)

**教育長**

それでは、「報告第2号 令和3年度北海道教育功績者表彰の受賞について」説明をお願いします。

#### **報告第2号 令和3年度北海道教育功績者表彰の受賞について**

**学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当）**

「報告第2号 令和3年度北海道教育功績者表彰の受賞者について」御報告いたします。

この度、小樽市立菁園中学校の宮澤 知校長が受賞しました。裏面を御覧ください。

北海道教育功績者表彰とは、学校の教育活動等に意欲的に取り組み、特に優れた実践活動を行っている教職員を表彰し、もって教職員の意欲や資質能力を高め、学校の活性化を図り、本道の学校教育の振興に寄与することを目的としており、全道で10名表彰されております。

宮澤校長は、本道及び在外教育施設において美術科の指導にあたるとともに、北海道バレーボール協会指導普及委員会副委員長などを歴任し、部活動の指導において優れた成果を収

められました。

また、校長及び教頭として、閉校業務に携わり、とりわけ、新設校においては、地域に密着した特色ある教育活動を展開するとともに、文部科学省の「学園制加配活用事業」の指定を受け、小学校における教科担任制の先進的な取組を実施するなど、優れた実績は高く評価されております。

さらに、指導主事として、教職員の資質能力の向上や学校の組織力の強化に尽力し、本市の学校教育の充実・発展に寄与するとともに、北海道中学校校長会副会長や小樽市中学校長会長などの要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績が認められ、今回の受賞となりました。

報告は、以上であります。

**教育長** 　　ただ今の報告に関しまして、御質問・御意見等ございますでしょうか。

**各委員** 　　(なし)

**教育長** 　　受賞は12月1日ですね。非常に評価していただいて、大変嬉しく思っております。よろしいでしょうか。

それでは、本件を終了いたします。

続きまして「報告第3号 青園中学校吹奏楽部の「日本管楽合奏コンテスト」最優秀賞受賞について」の説明をお願いします。

#### **報告第3号 青園中学校吹奏楽部の「日本管楽合奏コンテスト」最優秀賞受賞について**

**学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当）** 　　「報告第3号 第27回日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞の受賞団体について」御報告いたします。

この度、小樽市立青園中学校の吹奏楽部が、全国大会最優秀賞を受賞いたしました。裏面を御覧ください。

本コンテストは、一般社団法人全日本吹奏楽連盟主催の全日本吹奏楽コンクールに次ぐ規模であり、全国の小学校、中学校、高等学校を対象とし、木管楽器、金管楽器、打楽器を中心とした自由な編成で演奏時間は7分以内の任意の曲で審査を行う大会です。

今年度、予選審査会を9月28日より、CDによる音源審査を行い、本来であれば、全国大会は東京での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症のため、11月20日に動画審査による開催となりました。

中学校S部門（3名以上15名以下の部門）には、道内から青園中学校を含め3校が全国大会に進み、青園中学校は最優秀賞を受賞いたしました。

報告は、以上であります。

**教育長**       ただ今の報告に関しまして、御質問等ございますでしょうか。

      青園中というか、市内の中学校が全国大会で金賞を取ったのは初めてと聞いておりますので、大変すばらしい成績だなと思っています。

      普段、部員が3年生を入れて21人いるそうで、25人以下の部門には人数が足りなくて出られなかったということで、15人以下で臨む大会で受賞されたということですが、全国で20校のうち6校が金賞ということですから、全国の6校の中に青園中学校が選ばれたということで、北海道から3校出るということは、各県からも同様な形で出場していると思われまので、大会には単純計算で150校程度出ている、その中から6校に選ばれたということで、大変栄誉あることですので、皆様方ももし仮に青園中学校に行くこと等ございましたら、先程の宮澤校長もそうですけれども、機会がありましたら御祝いをしていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

      何か御質問等ございますか。

**各委員**       (なし)

**教育長**       よろしいでしょうか。

      今日は非常に良い話ばかりで非常に空気が良いなと思っています。

      それでは、本件を終了いたします。

      続きまして、「報告第4号 小樽市成人式について」説明をお願いします。

#### **報告第4号 小樽市成人式について**

**生涯学習課長**   「報告第4号 小樽市成人式について」御報告いたします。

      資料を御覧ください。

      まず、1 令和3年 成人式の開催結果ですが、12月12日(日)の14時30分から、小樽市民会館にて開催しました。

      市内に住民票のある対象者の該当者数は874名でしたが、当日の参加者は約44%の383名でありました。

      新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、先月、お伝えしましたとおり、事前の申込者に対して抗原検査キットを送付するなど、できる限りの感染対策を行いながら実施しました。

      会場運営には例年よりも人手が必要な状況になりましたので、教育委員会の職員や青年会議所の方々15名にも協力していただき、その青年会議所の皆さんや、取材を希望される報道機関の方などにも、事前の抗原検査をお願いしております。

      当日の様子ですが、抗原検査で陽性反応が出たという連絡は1件もありませんでした。

      また、例年よりも参加者が少なかったことや、感染対策の厳しさの影響もあると思いますが、新成人の態度も非常に良く、スムーズに式典を開催することができました。

      新聞記事によると、新成人からは「今回もまた延期になるのではとあきらめていた。久しぶりに会う友達の顔を見られてよかった」、「開催が難しい中、改めて御祝いされてうれしい」

などの声がありましたし、集まった参加者が屋外などで楽しそうに友達と歓談している顔を見ると、開催することができて本当に良かったと感じております。

続いて、2 令和4年 成人式の開催予定ですが、来月1月9日（日）に、卒業した中学校により2回に分け、同じく小樽市民会館にて開催する予定です。

今回の該当者数は、令和3年よりも少し増えて906名で、申込者数は、12月20日現在で約60%の549名となっており、内訳は正午からの第1回が252名、15時30分からの第2回が297名となっています。

申込みは17日までとじていましたが、問合せがあったため、随時送付できるよう、26日まで申し込みを延長して対応中です。本日までに13人増え、申込者は562名となっています。

最後に感染拡大防止対策については、令和3年と同様で、基本的な感染対策に加え、抗原検査キットの送付、御来賓の方の縮小、大人数での飲食自粛をパンフや司会者からの呼び掛けで周知するなどの対策を実施します。

年末年始のオミクロン株の拡大が大変懸念されますが、そのような感染対策を行った上で、開催する予定であります。

小樽市成人式についての報告は、以上であります。

**教育長** ただ今の報告に関しまして、御質問・御意見等ございますでしょうか。

12日の日に実施した成人式については非常に静粛な形で、いつもの年よりも大変態度もすばらしくて良い成人式だなと思っておりました。

時期的にも良い時期だったのかなと思ってしまして、却って1月の方が心配なところが出てきそうだなと思いますけれど、感染対策をしっかりとりながら開催していきたいなと思ってます。常見先生よろしいですか。

**常見委員** はい。

**教育長** 今のところ562名ですけど、前回もあったんですけど、やはり当日来られて参加したいという新成人もおられましたので、多分この562名の他当日来られる人だとか、当日検査を受ける人だとか出てくるのかなと思います。

2回に分けてやるということなので、中学校別で分けてますから、地域は分かれるんですけども高校の同窓生と色々お話ししたいという方もいるでしょうから、そこら辺がどういうふうになの流れができるのかなというのはありますけれども、式の方では出来るだけ感染リスクを抑えるような形で進めたいと思っております。

よろしいでしょうか。

**各委員** (なし)

**教育長** それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、「報告第5号 いじめ防止キャンペーン標語について」説明をお願いします。

## 報告第5号 いじめ防止キャンペーン標語について

学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当）

報告第5号「いじめ防止キャンペーン標語」に

ついて御報告いたします。

このことについては、今年度も、道教委が、毎年7月から8月にかけて募集している「絆づくりメッセージコンクール」の標語と、市教委の「いじめ防止標語」の取組を兼ねて募集したところ、市内全ての小中学生が取り組み、取組総数5,934点から274点、今年度新たに設定された団体部門で小中学校合わせて17点の応募がそれぞれございました。

はじめに、3枚目を御覧ください。

今年度、道教委審査による標語受賞者はいませんでした。後志管内審査において、「小学校の部」では個人の部で3名、団体の部で3校、「中学校の部」では団体の部で3校が入選し、すでに各学校において賞状が授与されております。

2枚目の審査結果を御覧ください。

後志管内審査において、入賞した作品を除いた作品の中から、改めて市教委が独自に選考し、まず、指導グループで1次審査を行い、小学校9点・中学校6点、計15点に絞りました。

次に、事前に、委員の皆様から、良いと思われる作品を小学校・中学校それぞれ1位から3位まで選んでいただき、1位を5点、2位を3点、3位を1点として集計したところ、合計点は、御覧のようになりました。

合計点を見ますと、小学校の1位は10点を獲得した、花園小学校3年の「田島 和奏」さん、2位は8点を獲得した高島小学校6年の「梶原 もな」さん、3位は7点を獲得した長橋小学校4年の「山崎 汰」さんと花園小学校4年の「三上 璃子」さん、中学校の1位は14点を獲得した桜町中学校2年の「宮下 結衣」さん、2位は10点を獲得した向陽中学校2年の「田中 竜太」さんが、それぞれ高得点を獲得するとともに、この6名の作品は、それぞれ複数名の方が選んでおりましたので、小学校4点、中学校2点、合計6点を入賞とすることとしました。

表彰式につきましては、例年12月のいじめ防止サミットにおいて行っていましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中学校区での開催となったため、各学校に賞状を送付し、各学校において授与される予定です。また、入賞作品は、短冊にして各学校へ送付し、校内に掲示していただき、「よりよい人間関係づくり、絆づくり」の啓発に活用することとなっております。

なお、道教委の標語に入選した作品も、市教委で短冊を作り、これらの標語と併せて各学校へ送付いたします。

以上でございます。

教育長

ただ今の報告に関しまして、何か御質問・御意見等ございますでしょうか。

みなさんすばらしい作品で、絞るのも切ないところなんですけれども、こういうコンクールという部分で道も含めてやっておりますので、こういう形で選ばせていただくということ

でございます。  
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

教育長 それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、その他の報告ですけれども、「寄附採納について」説明をお願いします。

教育総務係長 寄附が3件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、「志和 裕」様から、小樽市交通災害遺児奨学資金基金に1万円を御寄贈いただきました。教育委員会では、保護者が交通事故で亡くなるなど交通災害遺児となった高校生に最大15万円を給付しており、交通災害遺児奨学資金基金はその原資となっております。

志和様からは平成12年より御寄附をいただいております、11月に引き続き今回で18回目、総額は23万円となります。

2件目は、公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部 支部長「船山 純」様から、デジタル生物顕微鏡、9万8千円相当を御寄贈いただきました。日本教育公務員弘済会は、教職員の福祉向上を目的とした共済事業を行っている公益財団法人です。他にも、奨学金の事業、教育に対する助成や教育文化振興の事業を行っており、その一つとして、同会北海道支部が主催し、希望する学校に理科教育等に関する教材・教具セットを贈呈する令和3年度「スクールアシストパック」に塩谷小学校が応募し、選考会において追加選定されたものです。

3件目は、「高坂 啓子」様から小樽市奨学資金基金に10万円を御寄贈いただきました。教育委員会では、経済的に恵まれない高校生に奨学金を年間5万円70名に給付しており、奨学資金基金はその原資となっております。

高坂様からは、平成14年より御寄附をいただいております、10月に続き今回で32回目、総額は415万円となります。

報告は以上でございます。

教育長 ただ今の報告に関しまして、御質問等ございましたらお願いします。

志和さんも高坂さんも毎回のように御寄附をしていただいて感謝を申しあげます。

すでに32回目ということです。415万円もいただいております、年間5万円ずつなんですけど、70名程に寄附をして、それが高校1年生で寄附されると、3年間15万円ということになります。活用させていただく原資ということになりますので、非常に小樽市としても財政的にも非常にありがたいことですので、感謝を申し上げたいと思います。

御質問等ございますか。

各委員 (なし)

教育長 よろしいでしょうか。

それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様には御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

**協議第1号 令和3年度教育費補正予算案について**

教育総務係長から、「令和3年度教育費補正予算案について」説明し、全委員により協議した。

**協議第2号 令和4年度教育費予算案について**

教育総務係長から、「令和4年度教育費予算案について」説明し、小澤委員から意見があったほか、全委員により協議した。

**協議第3号 就学指定校変更に関する事務処理要綱について**

学校教育支援室主幹（学務担当）から、「就学指定校変更に関する事務処理要綱について」説明し、小澤委員から意見があったほか、全委員により協議した。

**協議第4号 小樽市総合体育館長寿命化計画（案）について**

生涯スポーツ課長から、「小樽市総合体育館長寿命化計画（案）について」説明し、全委員により協議した。

<非公開の審議終了>

教育長 以上で、教育委員会第12回定例会を閉会いたします。